

1 矢向地区

1. 第4期計画策定（令和3年度～7年度）



誰もが安心して暮らせる矢向のまち

目標1 子どもが健全に過ごせる場づくり

■5年間の具体的な取組

- ①子どもと高齢者等様々な団体同士の交流会の開催。
- ②学齢期の子どもへの支援体制を整える。
- ③あいさつ運動の拡大。（例：入学式、日頃からの挨拶・声掛け等）



矢向地区の世代間交流

交流 多様な主体	支えあい 見守り	健康
人 材		
相互理解		
場・機会		

区計画とのつながり

目標2 住民の参加（担い手づくり）

■5年間の具体的な取組

- ①町会の垣根を越え、子どもから高齢者まで誰でも参加できる趣味やスポーツを通じた声かけや交流の企画。（例：運動会、グランドゴルフ等）
- ②（綿花の）一鉢運動をより多くの人に広げる。
- ③イベント等に来てもらえる仕掛けづくり。
（例：地域の関係団体との連携、情報発信の工夫等）
- ④若い世代の参加。（例：お神輿、防災訓練、町会行事等）
- ⑤若い担い手づくり。



お祭りへの中学生の参加

交流 多様な主体	支えあい 見守り	健康
人 材		
相互理解		
場・機会		

区計画とのつながり

目標3 住民同士の見守り見守られる関係づくり（ゆるやかな見守り）

■5年間の具体的な取組

- ①黄色いリボン運動の継続。
- ②地域の社会資源を活用し、身近な場所に人々が集まれる場所をつくる。（例：地域食堂、カラオケ、サロン等）
- ③災害時要援護者の日頃からの見守り。



ラジオ体操

交流 多様な主体	支えあい 見守り	健康
人 材		
相互理解		
場・機会		

区計画とのつながり

2. これまでの取組について

<第3期計画の主な取組内容（平成28年度～令和2年度）>

誰もが安心して暮らせる矢向のまち

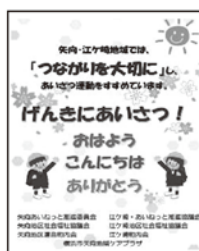
目標1 子どもが健全に過ごせる場づくり

目標2 住民の参加(担い手づくり)

目標3 住民同士の見守り見守られる関係づくり

あいさつ運動

矢向小・矢向中の入学式で、「おはよう」「おめでとう」と声かけを行い、あいさつの標語のプリントを挟んだクリアファイルを配布しました。



黄色いリボン運動

災害時、各戸に黄色いリボンを掲げて迅速な救助活動につなげます。黄色いリボンは「わが家は大丈夫だから、他の人を助けて」のサインです。

平成30年度は新たな世帯に配布しました！



とちのきフェア

矢向あいねっと参加団体のブースを回り、活動体験やクイズを通して、各団体を知る機会を作っています。



炊き出しの会

毎年シールアンケートを行っています。令和元年度は、第4期計画に関連した「みんなで考える矢向のまちづくり！」をテーマに出店しました。

<第4期計画策定に向けて>

矢向あいねっと地区フォーラム開催！（令和元年11月27日開催）

第4期計画の策定に向け、グループに分かれて目標ごとに活動を振り返り、話し合いをしました。

【意見】

- ・行事で会った子ども達がまちで声を掛けてくれる。
- ・地域の中での声掛け・日頃からのつながりを大切に。
- ・おやじの会がお祭りや炊き出しの会で活躍している。
- ・行事ごとに協力者を募る等、参加しやすい環境整備。
- ・黄色いリボンの周知徹底が必要。

【活動を通して見えてきた課題】（アンケートより）

- ・相互理解をした上での世代間交流を行ったら良い。
- ・子どもの時から各種行事に参加してもらい、中学、高校、社会人になっても地域とのつながりを持つようにしていきたい。

～参加者～

矢向あいねっと推進委員会、民生委員、主任児童委員、保健活動推進員、町内会、老人クラブ、PTA、矢向小サポーターズ、保育園から56名が参加！

